令和３年度一般会計当初予算の概要

１　予算規模

R3一般会計予算は、**４，６７９，０００千円**
（対前年度比：２２７，０００千円減少、４．６％減少）

◇「上総一ノ宮駅東口整備事業」の終了が主因となり、予算規模は縮小。
◇新型コロナウイルス感染症の影響で開催が1年延期となっていた「東京五輪事業」や、観光目的の誘客促進として「一宮海岸トイレ整備」、「観光ガイドブック作成」を行うほか、安全・安心なまちづくりを目指し「一宮町中央ポンプ場整備事業」を拡充。さらに、老朽化した町バスの買換えや、福祉の充実として「産後ケア事業」、「新生児聴覚検査助成事業」などを盛込み、幅広い分野に配分。

２　主な取り組み

○東京2020オリンピック競技大会の成功を目指し～更なる町の発展に向けて

①（新規）町独自イベント管理運営事業・・・27,655千円

・オリンピックサーフィン競技大会期間中の8日間は、国内外からの観戦客が多数来町することが見込まれるため、新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで、来町者と地域住民が共に参加できるイベントを企画し、地域全体（長生郡市・夷隅郡市）で祝祭ムードを創出します。

※7月25日（日）から8月1日（日）16：00～20：00（一宮町役場前・保健センター前駐車場）

②（新規）都市ボランティア管理・運営事業・・・11,233千円

・オリンピックサーフィン競技大会期間中に上総一ノ宮駅周辺において観光・交通案内等を行う「都市ボランティア」の管理運営等を委託し、円滑な大会運営をサポートします。

③（新規）釣ヶ崎海岸施設設備本設事業・・・8,862千円

・オリンピックサーフィン競技会場となる釣ヶ崎海岸に町が整備した施設は、競技大会時は（公財）東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が仮設で電気・水道を設置するため、大会終了後、R4年4月の供用開始を目指し本設工事を行います。

④（新規）機運醸成等委託事業・・・8,000千円

・オリンピックサーフィン競技開催地として駅や会場周辺をオリンピックルックに装飾し、選手・関係者・観戦客へのおもてなしや大会開催の祝祭感を創出し、地域全体で盛り上げます。

⑤（新規）モニュメント製作設置工事費・・・3,000千円

・オリンピックサーフィン競技開催地としてレガシーを残すため、釣ヶ崎海岸に記念モニュメントを設置します。

⑥（新規）東京2020オリンピック観戦チケット購入費・・・2,040千円

・一宮町に住む子どもたちが、世界的一大スポーツイベントであるオリンピック競技大会を会場観戦することで、スポーツの素晴らしさや世界中の人々と交流することの楽しさを体験してもらい、郷土への誇りと愛着を増幅させ、一生の財産として心に残る機会を提供します。

※町立小中学校分として千葉県から「学校連携観戦チケット」が提供される予定ですが、不足分について町が「関係自治体向けチケット」を購入し、町立小中学生全員に観戦する機会を提供するものです。

○楽しく子育てができるまちに

①（継続） 子ども医療費助成事業・・・41,429千円

・子育て世帯が安心して暮らせるよう、高校3年生までの医療費を助成します。

②（継続） 保育所第3子無料化事業・・・1,350千円

・多子家庭の経済的支援を図り、出生数の向上と移住定住の促進を図ります。

・保育所に入所する3歳児以上第3子以降の副食費を無料にします。（所得制限なし）

③（継続） 小学校プール水泳指導委託事業・・・6,963千円

・天候や水温に左右されることなく、計画的に安全・安心なプールでの水泳授業の展開とインストラクターによる質の高い技術指導を提供します。

④（新規） 産後ケア業務委託事業・・・977千円

・産後の心身のケアや育児相談を実施し、産後うつや幼児虐待防止等に努めます。

⑤（新規） 新生児聴覚検査助成事業・・・233千円

・赤ちゃんの健やかな発達のため、新生児聴覚スクリーニング検査の費用を助成します。

○若者が集いお年寄りにやさしいまちに

①（拡充）健康増進事業・・・29,189千円

・健康づくりに関する事業に参加した町民に健康ポイントを付与し、貯まったポイントで県内協賛店で優待を受けることができる「健康ポイント事業」を導入し、町民の健康寿命の延伸を図っていきます。

②（継続） 外出支援事業・・・7,944千円

・高齢者（65歳以上）や身体の不自由な方の町内の移動を容易に出来るよう送迎サービスを行います。

③（新規） いちのみや号購入費・・・9,652千円

・購入から22年経過し老朽化が著しく、バスの安全性を確保するため町バスを一新します。近年の利用状況や、今後の管理運営を考慮し、従来の中型バスからマイクロバスへと変更します。

④（新規）中央公民館トイレ改修工事費・・・893千円

・高齢者や身体の不自由な方が、安全にトイレが利用できるよう和式から洋式へ改修を行います。

○また訪れたいと思えるまちに

①（新規） 一宮海岸トイレ設置工事費・・・49,830千円

・観光地としてのイメージアップと、利用者の利便性の向上を図るため、常設トイレ（2箇所）の設置を推進します。

②（拡充） 観光ブック作成事業・・・3,465千円

・町の観光ガイドブックとして定着し観光客や町内飲食店・宿泊事業者から人気のある「るるぶ一宮町」は、町の周知や誘客ツールとしての活用も見込めるため改訂版を作成します。

○安全安心なまちに

①（拡充） 公共下水道施設（一宮町中央ポンプ場）整備事業・・・289,807千円

・中央ポンプ場は施設整備開始から半世紀近くが経過し老朽化が著しいため、浸水被害から町民の生命と財産を守るため、引続き除塵設備及び電気設備工事を行います。新たに、屋外設備やその他の電気整備等について劣化診断を行い、R4年度以降の大規模改修事業に必要となる各種計画の策定に取り組みます。

②（新規） 農業排水路改修工事費・・・3,850千円

・農村総合整備事業で整備した、どんどん川護岸の亀裂がひどく危険なため、改修工事を行います。

③（新規）長生第2排水機場整備補修工事費・・・40,084千円

・湛水防除施設である長生第2排水機場の電動ポンプの老朽化が著しいため補修工事を行い、農作物への湛水被害を防ぎます。

④（継続）防災行政無線デジタル化事業・・・42,834千円

・電波法の規制により、今後見込まれるアナログ波の完全停波に対応するため、平成29年度から計画的に防災行政無線のデジタル化を進めています。総事業費（7年間）：350,000千円

⑤（新規）防災士育成事業・・・619千円

・各自主防災組織に属している方の中で防災士の資格取得を希望される方を対象に、資格取得に必要となる経費を補助し、地域防災力の向上を目指します。

3　主な財源内容

○町税収入　1,328,017千円（90,156千円減、6.4%減）

個人・法人町民税・・・新型コロナウイルス感染症の影響により減収が見込まれるため減少。（82,943千円減）

固定資産税・・・3年に1度の評価替えが主因となり減少。（5,066千円減）

○地方交付税　1,050,000千円（増減なし）

普通交付税・・・1,000,000千円　　特別交付税・・・50,000千円

○国庫支出金　549,861千円（28,379千円増、5.4%増）

「公共下水道施設（一宮町中央ポンプ場）整備事業補助金」（53,702千円増）が主因となり増加。

○県支出金　347,939千円（241,505千円減、41.0%減）

「上総一ノ宮駅東口整備事業」の終了が主因となり減少。

○基金繰入金　275,584千円（21,450千円減、7.2%減）

財政調整基金・・・142,000千円計上（前年度当初予算では250,000千円取崩し）

その他特目基金・・・133,584千円計上（公共下水道施設（一宮町中央ポンプ場）整備事業などの財源に繰入れ）

4　基金・町債残高の状況

○基金残高

（単位：千円）

基金名	平成30年度末残高	令和元年度末残高	令和2年度末残高見込み	令和3年度末残高見込み
財政調整基金	1,019,107	876,812	858,983	717,083
その他基金	701,877	633,044	760,620	705,958
合　計	1,720,984	1,509,856	1,619,603	1,423,041

○町債残高

（単位：千円）

平成29年度末残高	平成30年度末残高	令和元年度末残高	令和2年度末残高見込み	令和3年度末残高見込み
3,444,879	3,353,776	3,364,577	3,444,816	3,571,547